

施策の基本的方向:自然環境・文化の保全と観光が両立した持続可能な観光地域づくり 観光を支える担い手の育成・確保

○ 北海道開発局は、第9期北海道総合開発計画の主要施策である観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくりに向け、北海道運輸局(観光部)、北海道(観光局)、北海道観光機構と連携して、北海道における観光人材育成のための研修を実施しています。

[R1] R1.10.29~31 受講者19名

- ・開発局4名(札幌3名、小樽)、運輸局4名(うち各1名稚内市、浦河町派遣中)
- ・後志総合振興局
- ・函館市、旭川市、室蘭市、恵庭市、新十津川町
- ・岩見沢市観光協会、倶知安観光協会、別海町観光協会
- ・観光振興機構2名(中標津町、滝上町)

[R2] R2.10.26~28 受講者20名

- ・開発局2名(帯広、網走)、運輸局3名
- ・後志総合振興局、胆振総合振興局
- ・恵庭市、新得町、長万部町、富良野市、美唄市、倶知安町
- ・当別町観光協会、えりも観光協会、別海町観光協会、旭川観光コンベンション協会
- ・北海道ツアーサポート(株)
- ・観光振興機構2名(うち1名別海町)

[R3] R3.10.26~28 受講者12名

- ・開発局4名(小樽、室蘭、留萌、稚内)、運輸局3名
- ・北海道
- ・恵庭市、洞爺湖町
- ・洞爺湖温泉観光協会(洞爺湖町)、倶知安観光協会

[R4] R4.10.12~14 受講者14名

- ・開発局6名(小樽、旭川、室蘭、帯広、網走、稚内)、運輸局3名
- ・檜山振興局
- ・室蘭市、積丹町
- ・観光振興機構2名

[R5] R5.11.14~16 受講者13名

- ・開発局4名(札幌、帯広、留萌、稚内)、運輸局3名
- ・北海道2名
- ・登別市、白老町
- ・当別町観光協会、白老町観光協会

[R6] R6.10.29~31 受講者19名

- ・開発局4名(本局、札幌、函館、室蘭)、運輸局4名
- ・北海道2名
- ・恵庭市2名、室蘭市、函館市
- ・洞爺湖温泉観光協会、鹿部温泉観光協会、なかとんべつ観光まちづくりビューロー
- ・日本旅行、札幌観光バス

運輸局、北海道観光機構から派遣された講師、観光学に関する学識経験者、DMO関係者、観光系IT事業者等による座学講義を通じて、観光地経営人材に必要な基礎知識の習得を目指します。

また、ビッグデータを用いた観光地マーケティングのグループ実践演習を行うことで、観光地における価値創出に向けた総合実践力を養う動機付けを行います。



受講者全員で研修終了後の記念撮影



課題研究グループワーク発表の様子

令和6年度「観光地域づくり・マーケティング研修」開催結果概要

令和6年度の観光地域づくり・マーケティング研修を10月29日(火)～31日(木)の日程で開催しました。今回の研修には、北海道開発局、北海道運輸局、北海道、基礎自治体、観光協会等から19名が参加し、観光地域づくり人材に必要な知識の習得、ビッグデータを用いた観光地マーケティングの実践演習を行いました。

令和6年度研修概要

日程: 令和6年10月29日(火)～31日(木)

受講者: 19名

教科目: 講話・北海道総合開発計画における観光の取組

観光行政の最近の話題

噴火湾の恵みを活かした観光地域づくりの取組について

地域経済活性化の必要性について(観光産業が道内経済に与える効果)

三笠ジオパークの取組を通じた観光地域づくり

世界トップクラスのデスティネーション・マーケティングの実践

ビッグデータを活用した観光客の動向分析

課題研究(班別討議)



課題研究グループワークの様子



課題研究グループワーク発表の様子

受講者の声



北海道運輸局 観光地域振興課
地域第二係 千葉 智晶さん
第一線で活躍する講師の講義では、斬新かつ大胆な発想と行動力に驚かされるとともに、その重要性を痛感しました。課題研究では、観光地域づくりに関わる様々な立場の方々と共通の課題に向き合うことで、物事の見え方や考え方の違いを理解する機会となりました。また、人脈と視野を広げるのに大いに役立ちました。



(一社)洞爺湖温泉観光協会
主事 横山 千里さん
観光人材として必要な知識だけでなく、魅力的な講師の経験談や挑戦的なエピソードを聞き、仕事への姿勢を学びました。特にビッグデータ活用の基礎を実践的に学べたことは大きな収穫です。参加者との交流を通じて、自分の地域だけでなく、北海道全体で連携した観光地域づくりへの意識も高まりました。